

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本メディカル福祉 専門学校	平成元年3月29日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅1-3-14 (電話) 06 - 6329 - 6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2-6-6 (電話) 06 - 6329 - 6553			
目 的	保育士に必要な子育て支援、地域関係機関との連携、虐待対応や障害児保育、保育に欠ける子どもの対応などの保育士を養成するため					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育	社会福祉専 門課程	こども福祉学科	2年 (昼)	1830 単位時間 (又は単位)	文部科学省公示 平成21年2月27日 第21号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	810 単位時間 (又は単位)	1170 単位時間 (又は単位)	— 単位時間 (又は単位)	350 単位時間 (又は単位)	15 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人	12 人	12人	25人	37人		
学期制度	■1学期：前期 ■2学期：4月1日～8月31日 ■3学期：後期 9月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 優(80点以上)良(79～70点)可(69～60点)不可(59点以下)	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月20日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月21日～4月10日			卒業・進級条件	卒業、進級に必要な単位を取得した者	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応			課外活動	■課外活動の種類 校友会など ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、保育所、 ■就職率 ^{*1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{*2} % ■その他 (任意) (平成〇年度卒業者に関する平成〇年〇月時点の情報)			主な資格・検定	保育士、社会福祉士、幼稚園教諭 免許 I 種	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 9%</p> <p>平成26年4月1日在学者 11名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 10名 (平成26年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的に就学継続が困難</p> <p>■中退防止のための取組 学費の分納を勧める。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.nmf.ac.jp/gakka_3.html</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

名 前	所 属
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
北野 暢隆	社会福祉法人若葉会 こどものくに保育園 園長
三好 伸子	大阪成蹊短期大学 児童教育学科 講師
大竹 留美	日本メディカル福祉専門学校
堀尾恵梨香	日本メディカル福祉専門学校
山崎 康祥	大阪府臨床工学技士会 理事
近藤 昭彦	大正クムダクリニック 透析室長
楠部 和恵	日本メディカル福祉専門学校
中道 和則	日本メディカル福祉専門学校

(開催日時)

第1回 平成26年5月31日 13:30～15:30

第2回 平成26年11月8日 14:00～15:40

第3回 平成27年2月7日 10:00～11:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
保育所実習Ⅰ	実習施設についての理解、保育の1日の流れを理解し、子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解し、保育計画・指導計画を理解した上で、生活や遊びなどの一部分を担当し、保育技術を習得する。	保育所
保育所実習Ⅱ	保育実習Ⅰで学んだ事を踏まえ、保育所保育士としての役割や知識、指導技術を取得するとともに、保育事業等に取り組む保育所の具体的な対応とその実践についての学習と理解について学ぶ。	保育所
施設実習Ⅰ	居住型児童福祉施設等、障害児通所施設等の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、施設等の機能と保育士の職務を学ぶ。	厚生労働省が指定する児童福祉施設等
施設実習Ⅱ	家庭と地域の生活実態にふれ、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養います。	厚生労働省が指定する児童福祉施設等

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

全国保育士養成協会から発行される研究論文を深め、あるいは行政からの問題提起に応えられる保育士像を目指して保育園や施設からの意見を取り入れながら、当該専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設又は授業内容・方法の改善・工夫等を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校
北野 暢隆	社会福祉法人若葉会 こどものくに保育園 園長
飯田 祐康	社会福祉法人恵福福祉会 さかえ保育園 園長 (卒業生の保護者)
田尻 愛澄	大阪市立保育所臨時保育士 (卒業生)
大竹 留美	日本メディカル福祉専門学校
山崎 康祥	大阪府臨床工学技士会 理事
蔵敷 重壽	大阪府立都島工業高校 元校長
中道 和則	日本メディカル福祉専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.nmf.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.nmf.ac.jp>

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			心理学理論 と心理学支 援	現在までの心理学に関するさまざまな基礎知識を整理し、重要な概念や理論について理解することと、将来的にソーシャルワークの現場で必要とされる知識や技能についても把握。	1 前	30	2	○		
○			社会理論と 社会システ ム	社会的な福祉領域における社会学の意義とは、状況や問題といった目の前の現れてくる「ありのままの現実」をかなう限りそのままに捉え、さらに、その「現実」の生じてくる原因やプロセスを探っていく。	1 後	30	2	○		
○			権利擁護と 成年後見制 度	社会福祉関連の諸制度が、どのような仕組みによって人々の権利を保障する制度になっているのか、その法の枠組みとそれに携わる人々の関係や役割について習得する。	1 後	30	2	○		
○			英語	会話と聴解力を向上する。	1 通	30	1	○		
○			保健体育	学校体育から社会体育、そして生涯体育の移行期として捉え、実技では、ノルディックウォーキングを行う。	2 通	60	1	△		○
○			保育原理	保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の思想と歴史的変遷、保育の現状と課題等について理解をする。	1 前	30	2	○		
○			児童や家庭 に対する支 援と児童家 庭福祉制度	子どもと家庭がおかれている現状や現代社会の在り様、それらが生み出す子どもの育ち、子育てに関するニーズを押え、原理、理念、権利保障の視点から進めていく。	1 前	30	2	○		
○			現代社会と 福祉	現代社会における社会福祉の意義や歴史的変遷を学びます。	1 前	30	2	○		

○		社会的養護	児童福祉における社会的養護の基本原則を理解して、保育士としての専門的知識と技術を習得し、社会的養護の歴史・体系・法律・制度を理解する。	1 前	30	2	○			
合計				9科目	300単位時間 (17単位)					

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
	○		障害児に対する支援と障害者自立支援法	障害者福祉とは何か、理念や歴史、生活実態などを通して理解し、その上で相談援助活動において必要となる障害児福祉の中心的な法制度、それぞれの理念、内容、仕組みを学び、理解する。	1 後	30	2	○		
	○		地域福祉の理論と方法	児童支援の支援の施設における児童を対象とした実践もそういった地域福祉的視点から重要な意義を持っており、親、学校、地域住民を含めた総合的なネットが必要不可欠となっている。そのような視点を見ながら理解をする。	1 後	30	2	○		
○			保育の心理学Ⅰ	子どもの発達とともに、子どもを育てる親、養育者を含め家族も発達していく。保育実践につながる「発達的な見方」の基礎を培うことを理解する。	1 後	30	2	○		
○			子どもの保健Ⅰ	子どもの心身の成長・発達を学び、またすこやかに成長発達するために保育士として知っておかなければならない、環境づくり、保健活動の意義、疫病の理解、そして施設などでの体制について理解をする。	1 前	30	2	○		
○			保育課程論	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価、保育課程の編成と指導計画の作成、計画、実践、省察、評価、改善の課程についてその全体構造を動的にとらえ理解する。	1 後	30	2	○		

○			保育内容総論	保育所保育指針における「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解するとともに、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。	1 前	30	1	○		
○			保育内容演習（健康）	幼児教育に携わる者として幼児の理解を深めるとともに必要とされる基礎的な知識や技能を習得することを目的とする。	1 前	30	1	○		
○			保育内容演習（表現Ⅰ） 音楽	保育者としての感性を磨き表現能力を養いつつ、乳幼児音楽の特性を学ぶ。音楽表現とは何か、表現は保育の中でどのような意味を持つのか、「表現」を育てるとはということなのかを学び、乳幼児のよりよい環境を構築するための保育者の役割を考え、実技演習として、楽器の取り扱いと指導法、鼓隊や合奏の構成と指導法も学ぶ。	1 後	30	1	○		
○			保育内容演習（言葉）	保育所保育指針の保育内容の5領域の1つの分野である「言葉」について理解し、子どもの育ちと言葉の関連、言葉の発達、その発達を支える児童文化財の活用などについて学習する。	1 後	30	2	○		
合計				9科目	270単位時間（14単位）					

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			保育内容演習（表現Ⅰ） 図画工作	基本的な演習を通して、保護者としての感性を磨き表現能力を養いつつ、現場での実践につなげる基礎を学び、こどもの発達や思考をイメージしながら、さまざまな素材を使い、表現の楽しさを体感し、表現活動と造形活動を結びつける遊びの展開を考える。	1 前	30	1	○		

○		保育内容演習（表現Ⅰ） 体育	実技を通して表現領域に関する体育分野から、あらゆる運動あそびや表現について学び、保育者自身の完成を豊かにするとともに、子どものころとからだを豊かの育むための方法を学ぶ。	1 前	30	1	○		
○		乳児保育Ⅰ	3歳児未満児の保育を行うについて、乳児保育の概念と意義を把握し、乳児保育の歴史と現状について理解を深め、成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに、保育士としての心がまえ、子ども像、保育観を確立するために保育原理の知識、技術の基礎を学ぶ。	1 前	30	1	○		
○		乳児保育Ⅱ	保育現場での事例や実践記録から、3歳未満児保育の実際を知り、体験学習しながら愛情豊かに子どもに接する実践力を身につける。	2 後	30	1	○		
○		音楽Ⅰ	実践的な童謡を進めていく中で、自然な発声と感情豊かに表現する歌唱力を養い、幼児への歌唱指導法も学習し、音楽理論の講義を併行して行い、読譜力を養い、併せて童謡の弾き歌いも学習する。	1 前	30	1	○		
○		音楽Ⅱ	楽譜の解釈に必要な記号、標語など基本的な音楽の知識を学習し、ピアノの基本的な技術を個人レッスン形式で学習する。	1 前	30	1	○		
○		図画工作Ⅰ	保育士として必要な美術の教養と基本的なことから、芸術の基礎体験を通して習得し、自らの感性や表現力を磨き、実技演習としては、平面造形に取り組み、材料用具の特性や取扱いになれるとともに、造形表現の楽しさを味わいながら、準備と後片づけの方法について学習する。	1 前	30	1	○		
○		図画工作Ⅱ	応用的・総合的な造形表現に取り組み、表現する喜びを味わって、保育の実践的展開を支える基礎技術の充実を図る。	2 後	30	1	○		
○		体育Ⅰ	身体活動を行うことで運動の必要性。重要性について学習し、同時に幼児期に必要な運動遊びについても学習する。	1 後	30	1	○		
合計				9科目	270単位時間（9単位）				

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			保育所実習 I	実習施設についての理解、保育の1日の流れを理解し、子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解し、保育計画・指導計画を理解した上で、生活や遊びなどの1部分を担当し、保育技術を習得する。	1 後	80	2			○
○			施設実習 I	居住型児童福祉施設等障害児通所施設等の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、施設等の機能と保育士の職務を学ぶ。	1 後	80	2			○
○			保育実習指導 I	実習の意義と目的、実習先の理解や心得、生活、記録、反省について学ぶ。	1 通	60	2	○		
○			保育実践演習 I	ピアノの個人レッスンで基礎技術的なレベルを上げながら、指導に必要な知識や技能について、実践を通して学ぶ。	1 後	30	1	○		
		○	高齢者に対する支援と介護保険制度	介護保険法を中心に高齢者への支援にかかわる法律・制度を学ぶ。制度の担い手となる組織・団体、専門職の役割、多職種連携の方法に加え、介護の概念や対象、介護技術について理解する。	2 前	30	2	○		
		○	低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助制度の歴史や基本的制度を理解し、現代社会における公的扶助制度の社会保障制度全体の中に位置付けながら、その理念と意義について理解し、生活保護制度のしくみと近年の動向を貧困の諸相と関連付けながら理解する。	2 後	15	1	○		
		○	社会保障	日本の各制度分野の全体にわたる規定内容と相互補完性を、講義を通して理解し、総合的な視点から社会福祉と社会保障をみることができるようにする。	1 後	30	2	○		

		○	人体の構造と機能及び疫病	心身機能と身体構造及び社会福祉の関与する疾病と障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。	1 前	15	1	○		
		○	保健医療サービス	医療ソーシャルワーカー業務指針を中心に、医療ソーシャルワーカーの業務を理解し、医療保険制度、診療報酬制度などを理解する。	1 前	15	1	○		
合計					9科目	355単位時間（14単位）				

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
		○	相談援助の基盤と専門職	相談援助の理念について理解した後、総合的・包括的な援助を行うため、多職種連携の必要性を学び、相談援助に係る専門職の概念と範囲、機能についても知り、専門職倫理や権利擁護の意義についても理解する。	1 後	30	2	○		
		○	相談援助の理論と方法	現場で相談援助ができるワーカーになることを想定しながら、その技術・方法・理論を学ぶ。	1 後	30	2	○		
		○	就労支援サービス・更生保護制度	相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度ならびに、就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。	2 後	15	1	○		
○			教育原理	教育の意義、目的及び児童福祉等のかかわり、歴史的変遷、教育の制度、教育実践の様々な取組について理解する。	2 前	30	2	○		
○			相談援助	相談援助の概要についてグループワークを通して理解し、相談援助の方法と技術についてロールプレイ等を通して理解する。	2 前	30	1	○		

○			保育者論	子どもの将来を見据えた、関わりや援助の仕方また、保育者としての社会的役割についても考え、保護者への対応や援助についての基本的な考え方や職員の連携についても考察し、学ぶ。	2 後	30	2	○		
○			保育の心理学Ⅱ	子どもの心身の発達と保育実践についてや生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習課程等を理解する。	2 前	30	1	○		
○			子どもの保健Ⅱ	保育現場では、実践が先立つことも多いが、なぜそうするのかを理解し、それと関連する事項についても考察し、実践できるように実習する。	2 後	30	1	△	○	
○			子どもの食と栄養	保育者として、保育との関連の中で、小児に適切な食事が提供できるよう、小児期の食生活の特徴や注意点、バランスの良い献立の作成に必要な栄養素や食品構成の知識等について学び、実習を通じて習得する。	2 通	60	2	○	○	
合計					9科目	285単位時間（14単位）				

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			保育内容演習（人間関係）	保育所保育指針や幼稚園教育要領における領域の理解を深め、保育の中での人間関係の育ち、その過程での大人（親、保護者、地域）の関わりの意味、関係性などを学習する。	2 前	30	1	○		
○			保育内容演習（環境）	子どもに環境とかかわる力を育てると視点から、その内容や方法を理解し、人的、物的、自然的、社会的分野等、保護者の役割についても考え、主体的、体験的に学ぶために動植物の観察を組み込んで学習する。	2 前	30	1	○		

		○	保育内容演習（表現Ⅱ）音楽Ⅱ	前半は、基礎を補い、後半は特に応用的総合的な実技授業とする。個人ピアノ技術能力の向上を目指し、オペレッタやミュージカル、ピアノ連弾などで、『合わせる』難しさを体験し、課題として学習する。	2前	30	1	○		
		○	保育内容演習（表現Ⅱ）図画工作Ⅱ	子どもの発達と造形表現に関する知識、技術を習得し、保育者としての豊かな感性と表現能力を身につけるとともに、幼児の表現の理解を深め、総合的な保育の能力を高める。	2前	30	1	○		
○			障害児保育	障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解し、障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び他の子どもの関わりの中で育ち合う保育実践について理解をする。	2通	60	2	○		
○			社会的養護内容	保育所の役割は、保育所だけでなく、乳児院や児童養護施設、障害児施設などで子ども生活全般に関わって援助し、乳幼児期から思春期にいたるまでの成長発達の過程における養護内容の実際を学習する。	2前	30	1	○		
○			保育相談支援	意義と原則について、保護者支援の基本、保育所等の児童福祉施設における保護者支援の実際等理解する。	2後	30	1	○		
○			体育Ⅱ	子どもの表現について理解を深め、身体活動を通して基礎的・基本的な知識や技能そしては発想力や表現力などを身につけるとともに、保育者として現場での実践のために必要な表現活動の指導方法、援助方法を学習する。	2前	30	1	○	△	
○			音楽Ⅲ	コードを用いた簡単な伴奏づけ、弾き歌い、移調など保育現場を意識した講義を行う。歌唱においては、幼児への歌唱指導を意識した模擬授業を行い、子どもの表現力を引き出すための知識や技術を習得する。	2前	30	1	○		
合計				9科目	300単位時間（10単位）					

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
	○		保育所実習Ⅱ	保育実習Ⅰで学んだ事を踏まえ、保育所保育士としての役割や知識、指導技術を取得するとともに、保育事業等に取り組む保育所の具体的な対応とその実践についての学習と理解について学ぶ。	2 前	80	2			○
	○		施設実習Ⅱ	家庭と地域の生活実態にふれ、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養います。	2 前	80	2			○
	○		保育実習指導Ⅱ	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶことを目標とします。具体的には、実習や既習の教科内容や関連性を踏まえ、保育実践力を培います。	2 前	30	1			○
	○		保育実習指導Ⅲ	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶことを目標とします。具体的には、実習や既習の教科内容や関連性を踏まえ、保育実践力を培います。	2 前	30	1			○
○			保育実践演習Ⅱ	2年間で修得した事を基礎として、保育士になるための指導法を学んでいく。	2 後	30	1	○		
		○	体育Ⅲ	幼児期の運動遊びについて学習する。いかにして運動遊びを実践すべきかを、実際に幼児を対象として指導するという前提で模擬指導をする。	2 後	30	1	○		
		○	福祉行財政と福祉計画	社会福祉の実践を支える法律や制度の仕組み、また、国や地方との関係、財源などを学習するとともに各分野の福祉計画についても理解する。	2 前	15	1	○		
		○	福祉サービスの組織と経営	福祉サービスに係る組織や団体について、経営に係る基礎理論、管理運営などについて理解する。	2 前	15	1	○		

		○	社会調査の基礎	地域の実態、児童の発達実態を客観的に正確に把握するのに必要欠かざる道具であるので、数字に慣れ親しんで活用できるように進めていく。	2前	15	1	○		
合計			9科目		325単位時間（11単位）					

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程こども福祉学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
		○	保育の心理学Ⅲ	児童期以降の発達、つまり、児童・青年・成人・老年期について、中枢神経系をはじめとする身体機能の成熟を踏まえつつ、認知・情動・社会性の発達についての理解を深める。	2前	30	2	○		
		○	臨床心理学	臨床心理学を構成している様々な理論や技術について学びます。	2前	30	2	○		
		○	児童文化	子どもの成長・発達を捉えながら、健康な情操を育てる、子どもの文化と一緒に学ぶ。	2後	30	2	○		
○			家庭支援論	現代社会においては、家族内の子育て機能が、量的、資的にも弱体化し、子どもの支援だけでなく、親を含めた家庭支援という視点が必要とされています。家庭支援論では「家族のあり方」や家族福祉の社会資源の役割を理解し、そのための援助方法や技術を習得し実践とともに学ぶ。	1後	30	2	○		
○			英語	会話と聴解力を向上する。	1前	30	1	○		
		○	図画工作Ⅲ	図画工作Ⅱをふまえ、子どもの発達と造形表現に関する知識と技術を習得する。	2後	30	1	○		

		○	保育内容演習（表現Ⅱ）[体育Ⅱ]	「体育」・保育者として一層な豊かな感性と表現能力を身につける。具体的には、劇遊びの中で、身体的動作に着目した部分を学ぶ。	2 後	30	1	○		
○			子どもの保健Ⅰ	子どもの心身の成長・発達を学び、またすこやかに成長発達するために保育士として知っておかなければならない、環境づくり、保健活動の意義、疫病の理解、そして施設などでの体制について理解をする。	2 前	30	2	○		
合計				8科目	240単位時間（13単位）					